

シフティングレバー (REVOSHIFT) / ブレーキレバー



ユーザーマニュアルは以下にてご覧いただけます。
<http://si.shimano.com>

重要なお知らせ

- ユーザーマニュアルに記載されていない自転車への取付け、調整などにつきましては購入された販売店または代理店へご相談ください。なお、自転車安全整備士、自転車技士など専門知識を有する方むけのディーラーマニュアルはウェブサイト(<http://si.shimano.com>)で公開しています。
- 製品の分解、改造はおこなわないでください。

安全のため、必ずこの「ユーザーマニュアル」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

安全のために必ずお守りください

交換作業を必要とする事項は販売店または代理店へご相談ください。

警告

- 自転車は、製品によって取扱いが多少異なることがあります。したがって、ブレーキレバーへの入力や自転車の操作特性などを含め、個々の自転車のブレーキ系統の適切な操作を充分理解し慣れるようにしてください。ブレーキ系統の操作が適切でないと自転車のコントロールを失い、転倒して大けがをする可能性があります。適切な操作については、自転車専門店にご相談いただき、また自転車の取扱説明書もよくお読みください。ご自分の自転車にお乗りになって、ブレーキ操作などを練習していただくことも大切です。
- 前ブレーキを強くかけると前輪がロックし、自転車が前方向に転倒して重傷を負う可能性があります。
- 乗車前には必ず前後のブレーキが正しく作動するかどうか確認してください。
- 雨天時は制動距離が長くなります。スピードを控えて、早めの滑らかなブレーキ操作をしてください。
- 路面がぬれていると、タイヤがスリップし易くなります。タイヤがスリップすると転倒して危険です。スピードを控えて、早めの滑らかなブレーキ操作をしてください。
- ブレーキケーブルはサビ、ほつれあるいはひび割れが無い点検し、ある場合は販売店または代理店へご相談ください。ブレーキが効かなくなり危険です。
- ユーザーマニュアルをよくお読みになった後、大切に保管してください。

注意

- シフティングレバーは必ず1段ずつ変速操作してください。その際、ペダルの踏力は弱い状態で行ってください。強くペダルを踏んでいる時に、無理やりシフティングレバーを操作したり、一気に多段変速したりすると、足がついていかずにペダルから足を踏み外し、転倒事故につながる場合があります。また、シフティングレバーを軽いギアへ一気に変速させるとアウターケーシングがシフティングレバーから飛び出す場合があります。変速が終わると元に戻りますので機能への影響はありません。

使用上の注意

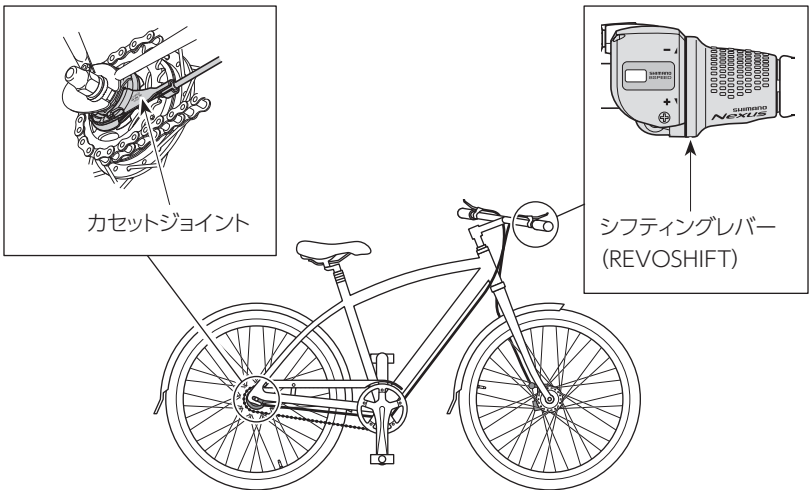
- 通常の使用において自然に生じた摩耗および品質の経年劣化は保証いたしません。

乗車前の日常点検項目

乗車前には下記に記載する項目を点検ください。異常のあった場合は販売店または代理店へご相談ください。

- 変速はスムーズに行えますか。
- カセットジョイントのセットラインは正しい位置にありますか。
- 操作時にふだんと異なる音はしませんか。
- 前後のブレーキは正しく作動しますか。
- ブレーキレバーの引き代は適切ですか。
- ブレーキケーブルにはサビ、ほつれあるいはひび割れがありませんか。
- ふだんと異なる音はしませんか。

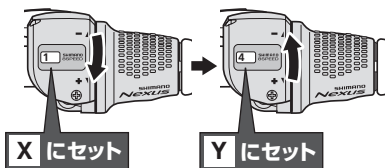
各部の名称



ケーブル調整の点検方法

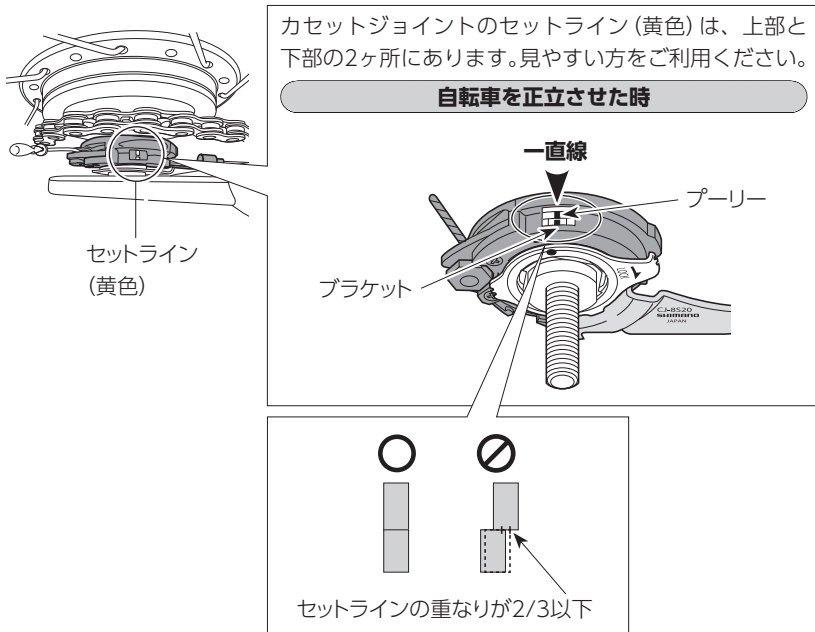
シフティングレバーをX→Yにセットします。オーバーシフトさせないように、ゆっくりと勢いをつけずにセットしてください。セット後、カセットジョイントにあるブラケットとプーリーのセットライン(黄色)が重なっていることを確認してください。重なりが2/3以下の場合は販売店または代理店にご相談ください。オーバーシフトさせてセットした場合、セットラインが本来の位置まで戻らず、セットライン合わせが正しい位置で行われない可能性があります。またセットラインの位置がずれたまま使用すると、ペダル踏み込み時にギアが上手く噛み合わず、異音やペダルが滑るような現象が発生する可能性があります。

例) 8段の場合



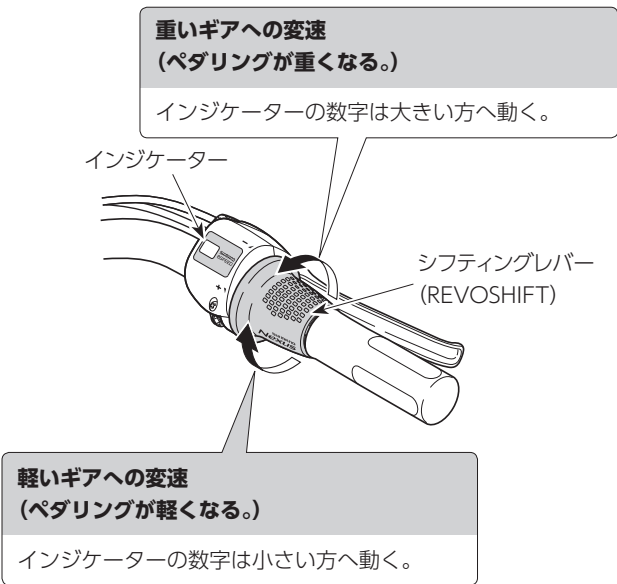
注意

	X	Y
8段の場合	1→4	
7段の場合	1→4	
5段の場合	1→3	



操作方法

手元のシフティングレバー (REVOSHIFT) を回して1段ずつ変速させます。



製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口
☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社 シマノ
堺市堺区老松町3丁77番地 〒590-8577